

2022年5月23日

## 個別化医療の実現を目指す 基礎と臨床の連携

### 栃木県立がんセンター研究所

栃木県立がんセンター研究所は、2022年4月1日に国立研究開発法人国立がん研究センター研究所より近藤格分野長を研究所長に迎えました。がんの個別化医療の実現を目指して、新しい体制で研究を始めます。栃木県立がんセンターでは、研究と診療と両方の専門家が協力しあってがんの治療成績の向上を目指してきました。このユニークな研究環境をさらに発展させ、県民の皆様のお役に立てるよう、がん医療の向上を目指した研究を行います。

#### ○研究所の目指すがん研究とは

現代のがん研究の特徴は、遺伝子・タンパク質の網羅的な解析により病気の分子背景が詳細にわかるようになったこと、そして今までの研究成果を元に新しい抗がん剤が次々と開発され臨床に应用されるようになったことです。これらにより、がんの個性への理解が分子レベルで進み治療法の選択肢が飛躍的に増えたため、個別化医療の実現が求められるようになりました。このような時代の流れを背景に、研究所では臨床に還元できる成果、とりわけがん個別化医療の実現につながる研究成果を目指します。

#### ○栃木県立がんセンター研究所の理念

「あの研究があつてよかった」と、患者さんとその家族、そして医療従事者の方々に思っただけの臨床に役立つ研究成果を目指します。

#### ○栃木県立がんセンター研究所の使命

##### 1. 個別化医療の実現につながる発見をする

臨床的に重要な事象（転移・再発・治療抵抗性など）に対応する遺伝子・タンパク質の異常を発見し、がんの個性を分子レベルで理解することで、治療法の選択に役立つバイオマーカーや新しい治療標的を発見します。また、患者由来がんモデルやプロテオゲノミクスの技術を用いて、がんの新しい概念の創出と診断技術の開発を目指します。

##### 2. 臨床の疑問に最先端の科学技術で答える

診療を通じて得られる臨床的な疑問に答えようと努めることで、基礎研究は発展してきました。臨床医・病理医との日常的なやりとりから臨床の課題をとらえ、最先端の科学技術を駆使してその解決を図ります。

##### 3. 次世代のがんの診療・研究を担う医師・研究者を育てる

がん研究はどの世代においても完遂することはなく、世代を超えた挑戦が求められます。今は予想もつかない革新的な技術や概念が登場する未来において、先導的に活躍できる医師・研究者を育成します。そのため、長崎大学と協定を結んだ連携大学院の制度を活用し、学生から社会人まで研究者の育成に努めます。

県民の皆様のお支援・御協力をどうぞよろしくお願い申し上げます。  
詳しくは、ホームページを御覧ください。

研究所 HP はこちら



<お問い合わせ>

〒320-0834 栃木県宇都宮市陽南 4-9-13  
地方独立行政法人栃木県立がんセンター  
広報広聴センター 安部・佐藤  
(電話番号)028-658-5151(代表)  
(ホームページ)<https://www.tochigi-cc.jp>